

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成24年5月17日(2012.5.17)

【公表番号】特表2010-518383(P2010-518383A)

【公表日】平成22年5月27日(2010.5.27)

【年通号数】公開・登録公報2010-021

【出願番号】特願2009-548480(P2009-548480)

【国際特許分類】

G 0 1 H 17/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 H 17/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月26日(2012.3.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下を含むシステムであって、

励起源と、

前記励起源に応答する第 1 光出力を提供するように構成された第 1 センサモジュールとを備え、

前記第 1 センサモジュールが、空間内で第 1 位置に配されるとともに、実質的に該第 1 位置において前記第 1 光出力を放出し、

前記システムはさらに、

前記励起源に応答する第 2 光出力を提供するように構成された第 2 センサモジュールを備え、

前記第 2 センサモジュールが、前記空間内で第 2 位置に配されるとともに、実質的に該第 2 位置において前記第 2 光出力を放出し、

前記システムはさらに、

前記第 1 光出力に色の変化を提供するように構成された 1 以上の光放出装置をさらに含み、

前記色の変化が、前記励起源に応答することを特徴とすることを特徴とするシステム。

【請求項 2】

前記第 1 センサモジュールが、第 1 音入力に対する選択指向性を提供するように構成されたマイクロホンを含むことを特徴とする請求項 1 記載のシステム。

【請求項 3】

以下を含むシステムであって、

励起源と、

前記励起源に応答する第 1 光出力を提供するように構成された第 1 センサモジュールとを備え、

前記第 1 センサモジュールが、空間内で第 1 位置に配されるとともに、実質的に該第 1 位置において前記第 1 光出力を放出し、

前記システムはさらに、

前記励起源に応答する第 2 光出力を提供するように構成された第 2 センサモジュールを備え、

前記第 2 センサモジュールが、前記空間内で第 2 位置に配されるとともに、実質的に該第 2 位置において前記第 2 光出力を放出し、

前記システムはさらに、

前記第 1 センサモジュールと第 2 センサモジュールの 1 以上の画像を得るように構成された画像取得システムをさらに含むことを特徴とするシステム。

【請求項 4】

ディスプレイを提供するように構成されたプレゼンテーションシステムをさらに含み、前記ディスプレイが 1 以上の画像に応答することを特徴とする請求項 3 記載のシステム

。

【請求項 5】

1 以上の画像を解析するとともに 1 以上の応答特性を決定するように構成された画像解析システムをさらに含み、

各応答特性が、1 以上の画像に応答するとともに前記空間内の 1 以上の位置に対応することを特徴とする請求項 3 記載のシステム。

【請求項 6】

ディスプレイを提供するように構成されたプレゼンテーションシステムをさらに含み、前記ディスプレイが、1 以上の応答特性に応答することを特徴とする請求項 5 記載のシステム。

【請求項 7】

以下の工程を含む方法であって、

音響エネルギーを含む刺激を提供する工程と、

前記刺激に応答する音響エネルギーを第 1 位置において感知する工程と、

前記刺激に応答する第 1 光出力を放出する工程とを備え、

前記第 1 光出力が、実質的に前記第 1 位置において放出され、

前記方法はさらに、

前記刺激に応答する音響エネルギーを第 2 位置において感知する工程と、

前記刺激に応答する第 2 光出力を放出する工程とを備え、

前記第 2 光出力が、実質的に前記第 2 位置で放出され、

前記方法はさらに、

前記刺激に応答する前記第 1 光出力に対する色の変化を提供する工程をさらに備えることを特徴とする方法。

【請求項 8】

前記第 1 位置において選択指向性を有する音響エネルギーを感知する工程をさらに備えることを特徴とする請求項 7 記載の方法。

【請求項 9】

以下の工程を含む方法であって、

音響エネルギーを含む刺激を提供する工程と、

前記刺激に応答する音響エネルギーを第 1 位置において感知する工程と、

前記刺激に応答する第 1 光出力を放出する工程とを備え、

前記第 1 光出力が、実質的に前記第 1 位置において放出され、

前記方法はさらに、

前記刺激に応答する音響エネルギーを第 2 位置において感知する工程と、

前記刺激に応答する第 2 光出力を放出する工程とを備え、

前記第 2 光出力が、実質的に前記第 2 位置で放出され、

前記方法はさらに、

前記第 1 光出力と前記第 2 光出力の 1 以上の画像を取得する工程をさらに備えることを特徴とする方法。

【請求項 10】

ディスプレイを提供する工程をさらに備え、

前記ディスプレイが 1 以上の画像に応答することを特徴とする請求項 9 記載の方法。

【請求項 1 1】

1 以上の画像を解析する工程と、
1 以上の応答特性を決定する工程とをさらに備え、
各応答特性が、1 以上の画像に応答するとともに、空間内の 1 以上の位置に対応するこ
とを特徴とする請求項 1 0 記載の方法。

【請求項 1 2】

ディスプレイを提供する工程をさらに備え、
前記ディスプレイが、1 以上の応答特性に応答することを特徴とする請求項 1 1 記載の
方法。

【請求項 1 3】

第 1 センサモジュールと、
第 2 センサモジュールと、
画像取得システムと、
取扱説明書とを含むキットであって、
前記取扱説明書は、
第 1 センサモジュールを空間内の第 1 位置に配し、
第 2 センサモジュールを前記空間内の第 2 位置に配し、
励起源を操作し、
前記第 1 センサモジュールの第 1 光出力を観察し、
前記第 2 センサモジュールの第 2 光出力を観察し、及び、
前記第 1 センサモジュールと前記第 2 センサモジュールの 1 以上の画像を取得するため
の画像取得システムを操作することをユーザーに示すことを特徴とするキット。

【請求項 1 4】

プレゼンテーションシステムと、
追加的な取扱説明書をさらに含み、
前記取扱説明書は、前記プレゼンテーションシステムを操作することにより、ディスプ
レイが提供されることをユーザーに示すことを特徴とする請求項 1 3 記載のキット。

【請求項 1 5】

画像解析システムと、
追加的な取扱説明書をさらに含み、
前記取扱説明書は、前記画像解析システムを操作することにより、1 以上の画像が解析
されるとともに 1 以上の応答特性が決定されることをユーザーに示すことを特徴とする請
求項 1 3 記載のキット。

【請求項 1 6】

プレゼンテーションシステムと、
追加的な取扱説明書をさらに含み、
前記取扱説明書は、前記プレゼンテーションシステムを操作することにより、ディスプ
レイが提供されることをユーザーに示すことを特徴とする請求項 1 5 記載のキット。